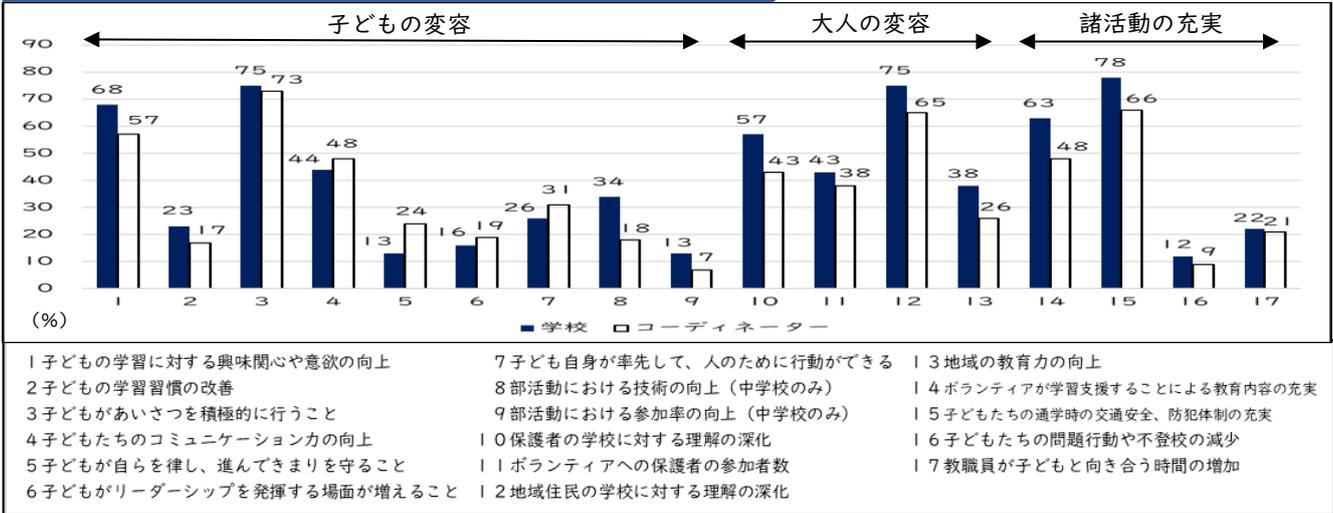


令和元年度奈良県学校・地域パートナーシップ事業にかかる調査結果
事業の効果について

事業実施校とコーディネーターの比較

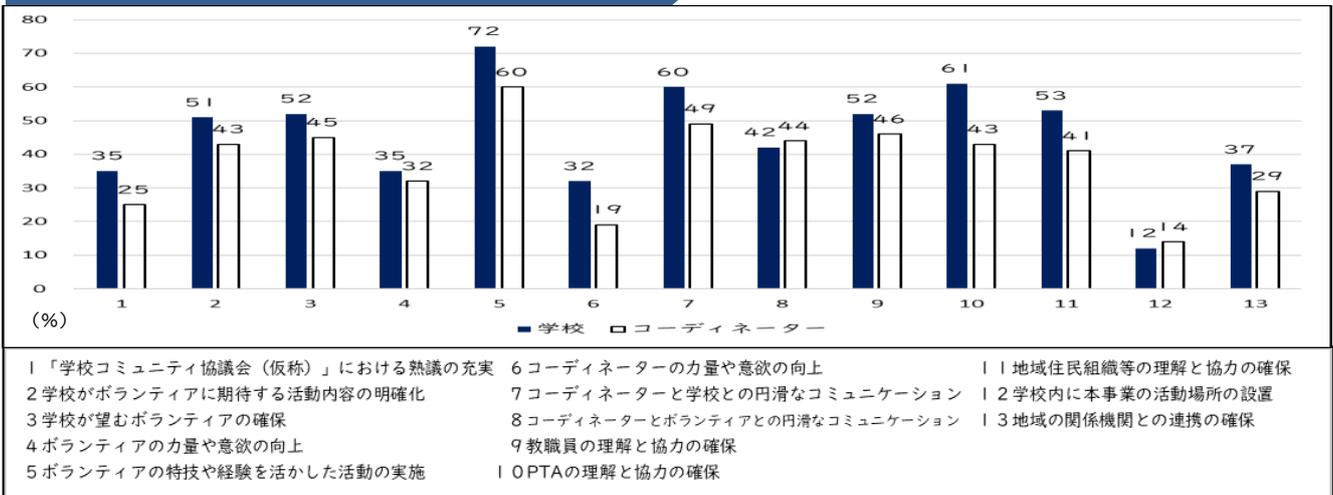
パートナーシップ事業の効果について



学校、コーディネーターが共に高い効果を感じている内容は、以下の通りです。

- 【子どもの変容】 「子どもたちがあいさつを積極的に行うこと」、「子どもの学習に対する興味関心や意欲の向上」
- 【大人の変容】 「地域住民の学校に対する理解の深化」
- 【諸活動の充実】 「子どもたちの通学時の交通安全・防犯体制の充実」

効果を生み出す要素について



学校、コーディネーター共に、「ボランティアの特技や経験を活かした活動」を実施することが、事業による効果を生み出す要素であると感じている割合が高くなっています。

多くの事業実施校園において、登下校の見守り活動や様々な学習支援が実施されており、本アンケートにおいても、「子どもがあいさつを積極的に行うこと」や「子どもの学習に対する興味関心や意欲の向上」に、効果を感じている学校園・コーディネーターが多くなっています。

学校と地域との熟議において、より具体的な「子どもたちの教育課題」や「協働活動の目標」を共有することが、高い効果を感じられる取組につながります。

充実した熟議を行うために、コーディネーターを中心として、ボランティアと学校の三者が「顔の見える関係」にあることが不可欠となります。そのためには、学校内に地域の人々の活動場所を設置し、教職員と接する機会を多くすることも有効です。